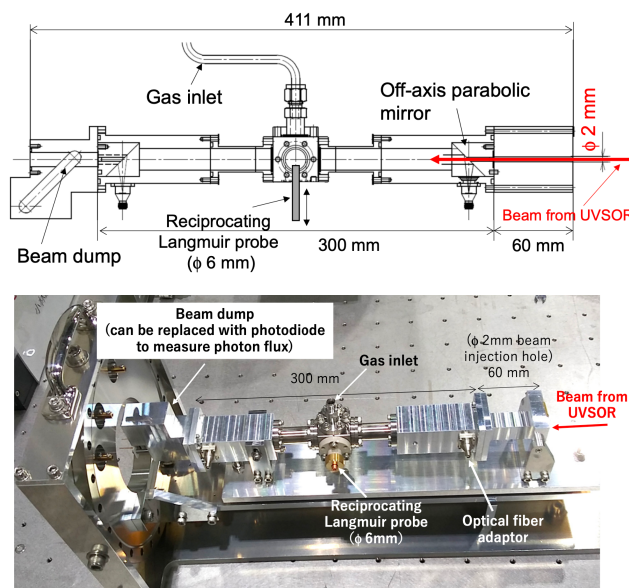


プラズマ・核融合学会誌

第100巻第11号

2024年11月

解 説	レーザーフュージョン研究の最前線	
	～スタートアップ企業から見たレーザーフュージョン～	松 尾 一 輝 461
小 特 集	核融合炉のための高温超伝導体開発の現状	
	1. はじめに	柳 長 門, 中 村 誠 467
	2. 高温超伝導テープ線材の開発の現状	山 田 稔 471
	3. 大電流高温超伝導体開発の世界的動向	柳 長 門, 成 嶋 吉 朗, 小野寺優太 476
	4. 高温超伝導テープ線材および大電流導体の接合技術	伊 藤 悟 484
	5. 高温超伝導マグネットの多用途アプリケーション	寺 尾 悠 490
	6. 高温超伝導体を支える低温工学	平 野 直 樹 495
	7. おわりに	橋 爪 秀 利 500
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		502
インフォメーション		503
	ITER だより (108)	
	【人事公募】	
本 会 記 事		507
	第 2 回プラズマ・核融合夏の学校開催報告	
編 集 後 記		



表紙の絵

将来の核融合装置のダイバータ領域や星間空間では、関連する元素 (H, He, Ne, Ar および生体分子など) の真空紫外光による光励起・光電離断面積が大きくなるため、このエネルギー領域での光誘起過程が重要になる。分子科学研究所の極端紫外光研究施設 UVSOR において光電離プラズマ生成実験を実施した。ラングミュアープローブによる電子電流計測により、光電離プラズマの生成が確認された。放射光施設における真空紫外光を用いた光電離プラズマ研究の新たな可能性が示された。

(Masahiro KOBAYASHI *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 19, 1301028 (2024) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 2 F Tel: (03) 3475-5618 E-mail : info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用、転載、翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。